



ひ た よ ろ う ん

第4回定例会	2
12月3日から6日までの4日間	
第3回臨時会	3
一般質問 ここが聞きたい(8人)	6
議員研修報告	10
委員会活動報告	11
町のこの人あのひと	12

太鼓を叩くことが大好きな仲間と

活動している

こばやし あきこ
小林 晃子さん



道祖神(下山田地区)

保険税均等割額 全額免除

令和元年第4回定例会は12月3日から6日までの4日間の会期で開催され、条例、補正予算などを審議しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

条例

大井町議会委員会条例の一部を改正する条例について
(賛成全員)

*広報常任委員会活動の充実を図るため、名称、定数を変更するなど必要の改正をするもの。

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例について
(賛成全員)

*成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正をするもの。

大井町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
(賛成全員)

*行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、所要の改正をするもの。

大井町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例について
(賛成全員)

*国民健康保険税の算定方法について、所得割額及び特定継続世帯に係る平等割額の改正並びに18歳以下の被保険者に係る均等割額を免除するもの。

問 保険税率の引下げとされているが、標準保険税率と同じにできなかった理由は。

答 標準保険税率には保健事業費が含まれていない。改正案は保健事業費を含めた税率となっている。

問 国民健康保険財政調整基金の積立額は。

答 今年度予算で6000万円の積立をすること、保有額を約3億8000万円としている。

問 均等割額、平等割額は現行のままで、標準保険税率と同じにできなかった理由は。

答 標準保険税率は県から毎年1月に示され変動もある。3年から5年での見直しは必要と考える。

問 子育て世帯等の経済的負担軽減を図るため、満18歳以下の均等割額を全額免除するが、近隣の状況は。

答 中井町では満18歳以下の3人目が全額免除される。全国で4番目、県内では初となる。

大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例について
(賛成全員)

*水道法の一部を改正する法律の施行に伴い、指定給水装置工事業者制

度の指定の更新制が導入され、新たに給水装置工事業者指定更新手数料を追加するため所要の改正をするもの。

問 給水装置工事業者指定更新手数料を1件、5000円とした積算根拠は。

答 下水道条例に定めている更新指定手数料を基にした。

問 5年ごとの更新となるが、来年から5年ごとか、5年が経過した事業者が更新申請をするのか。

答 指定を受けた時期によつて経過措置が設けられている。最短の事業者では、更新までの有効期限は1年である。

補正予算

一般会計

(第5号)(賛成全員)

問 酒匂川左岸堤防裏のり部分草刈委託料について平成29年度、30年度予算では約200万円。平成31年度は446万円の予算で面積の再調査によると説明をうけたが、執行残にしては約240万円の減額は大きい理由

答 業者からの指摘で㎡数が違っていたことが判明し平成31年度予算が増額した。㎡数が変わってからの入札で、例年と変わらないぐらいで落札された。



春を告げる水仙
(酒匂川左岸)

県内初 18歳以下 国民健康

問 小・中学校要保護及び準要保護児童・生徒扶助費の前倒し支給を、各10件としているが詳細は、
答 小学校は例年の見込み、中学校は小学6年生をベースに10件とした。1月までに申請されれば、2月末には支給をしたい。

問 町内2カ所の土地を売却しているが内訳は。
答 山田地区を法人に183・46㎡、金手を個人に64・23㎡を、路線価を基に積算し売却した。

問 台風19号による避難者に対し、貸出しをした毛布のクリーニング後の管理は。
答 200枚をクリーニングした。1枚ずつ真空パックにして、10枚を1箱にまとめて管理をしている。

問 山田総合グラウンド倒木伐採委託料の詳細は。
答 倒木は1本で、24万円の委託料の内訳は、諸費用、人工、仮設費、経費、消費税などである。

問 教職員健康診断委託料の減額の理由は。
答 異動や人間ドックを受ける方もいて、当初予算では96名を見ていたが受診者は64名となった。

陳情
老朽化した東海第二原子力発電所の運転延長・再稼働の再考を求める陳情（賛成4・反対9）
本会議において委員会報告、討論後、採択の結果、賛成少数で「不採択」と決した。

＜企画経済常任委員会＞
この陳情は、陳情者さよなら原発小田原大井町地区代表の大石舞氏ほか1名の連名にて提出されたもので、企画経済常任委員会に付託された。委員会審査にあたっては、陳情者から説明機会の要望があったため、これを許可し、質疑応答を行った。



問 今回の陳情は、原発稼働に賛成、反対の議論でない事の確認をしたいが。
答 そのとおりである。原発の運転延長・再稼働の再考を求めるものである。

問 地震調査委員会の公表結果を原子力規制委員会はどういうように受け止めていると考えているか。
答 原子力規制委員会は、見直しを検討する意思がないように思われる。

問 地震調査委員会の見解について、原子力規制委員会の委員長は、原発再稼働の審査となる新たな知見としてとらえていないと見解を示しているが。
答 意見書を出すことにより、再度検討してほしいと考えている。また、公式見解も出してほしい。

【審査結果】
（反対全員）
委員会として、本陳情の願意を、原発稼働の賛否を議論するものではなく、地震調査委員会の新たな見解を重く受け止める、原子力規制委員会が東海第二原発の再稼働の審査をやり直すことを求めているものとして審査を行った。その結果、原

子力規制委員会の委員長が地震調査委員会の見解を原発再稼働の再審査となる新たな知見として捉えていることを考慮すると、現時点において原発再稼働の再考を求めることの陳情を採択すべきではなく、引き続き、原子力規制委員会の動向に注視していく必要があると判断し、「不採択すべきもの」と決した。

第3回臨時会
11月20日に開催され、条例、補正予算、工事請負契約の変更の議案を審議しました。

条例
大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）
*人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に伴い、改正を行うもの。

補正予算

*各会計における補正は、職員給与改定等に伴い給与費の増減を計上し、介護保険特別会計においては、神奈川県町村情報システム等の改修に伴う負担金を増額計上。

一般会計

(第4号) (賛成全員)

問 総務管理費などで超過勤務手当が大幅に増額されている理由は。

答 台風19号の災害対応、固定資産税の建築年誤りに係る税額補正の調査事務、ひょうたん祭の従事職員の増によるもの。

問 期末勤勉手当が約2割増額しているところがあるが理由は。

答 職員の人事異動に伴い、給料が増額となっているため。

国民健康保険特別会計

(第2号) (賛成全員)

下水道事業特別会計

(第2号) (賛成全員)

介護保険特別会計

(第3号) (賛成全員)

水道事業会計

(第1号) (賛成全員)

工事請負契約の変更

*議会で契約承認をした案件で、10月1日の消費税率の引き上げに伴い、契約金額を増額変更するもの。

防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事

(賛成全員)

問 工事代金は、契約以降いつ支払われるのか。

答 500万円以上の案件については、40%を上限として前払金を支払い、後は完成払いとすることが多い。

問 9月末までの工事完

成分を8%とする契約方法を検討したか。

答 6、7月の契約であり、前払金の40%を超えるほど工事が進むものではないので検討していない。

大井小学校北棟改修工事

(賛成全員)

総合体育館空調設備改修工事及びLED設置工事

(賛成全員)

馬場配水池耐震補強工事

(賛成全員)

緊急遮断弁等改修工事

(賛成全員)



議会、たより第201号14ページ「中学生議会」の生徒の氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 滝本 裕太

(正) 滝本 祐太

広報広聴常任委員会

広報・広聴のパワーアップ 組織改正を実施!!

第4回定例会において、議員提案により大井町議会委員会条例を改正しました。改正内容は、「広報常任委員会」を「広報広聴常任委員会」に改め、今まで副議長を委員長として7人の議員で取り組んでいましたが、13人の議員で取り組む態勢に改めました。

また、広報、広聴活動の重要性を考慮しこの常任委員会には、副委員長を2人置き、それぞれ広報分科会と広聴分科会として活動していくことになりました。

議会の審議状況、活動を広報とする「議会、たより」、開かれた議会、町民の皆様と共に歩む議会を目指す「議会報告会」の一層の充実を図ります。

*議長はオブザーバーとして参加します。



広聴分科会

神保委員 北村委員
鈴木委員 清水(豊)委員 田中委員
熊田副委員長 伊藤委員長 細田議長



広報分科会

牧野委員 曾根田委員
清水(亜)委員 瀬戸委員 石井委員
田村副委員長 伊藤委員長 細田議長

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
 -は採決に加わらなかった議員
 細田勝治議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案 番号	議員名（議席順）と 審議結果 議 案 名	鈴木 磯美	田中 正彦	神保 京子	田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	曾根 田徹	瀬戸 和雄	北村 正夫	清水 豊司	石井 勲	審議 結果
第3回臨時会	62	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	63	令和元年度大井町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	64	令和元年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	65	令和元年度大井町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	66	令和元年度大井町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	67	令和元年度大井町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	68	工事請負契約の変更について (防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	69	工事請負契約の変更について(大井小学校北棟改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	70	工事請負契約の変更について (総合体育館空調設備改修工事及びLED設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	71	工事請負契約の変更について(馬場配水池耐震補強工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	72	工事請負契約の変更について(緊急遮断弁等改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4回定例会	73	大井町議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	74	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を 図るための関係条例の整備に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	75	大井町固定資産税評価審査委員会条例の一部を 改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	76	大井町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	77	大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	78	令和元年度大井町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	陳情 1	老朽化した東海第二原子力発電所の運転延長・再稼働の 再考を求める陳情	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	不採択

台風19号での避難情報の伝達は適切に行われたか

答 適切であったが、十分であったかは検証の余地がある

清水 亜樹 議員



問 行政は避難行動が容易にとれるよう防災情報をわかりやすく提供することとなっているが、避難情報等の伝達は適切に行われたのか。

町長 適切に避難情報を発令し、関係者への連絡はされた。今回、初めて町内全域に避難準備・高齢者等避難開始を発令したが、町の対応が十分で

あったかは検証の余地がある。

問 避難行動要支援者などへの対応はあったのか。

町長 自主避難所開設の情報等を早い段階で周知し、避難情報の発令に際しては地区関係者に連絡をした。要支援者の避難の仕方については、家族や支援者の協力により実行されるかと理解している。今回も支援者による避難援助があったと聞いている。

問 避難行動要支援者の登録制度を町ホームページ等で町民へ広く周知する必要があると考えるが、



雨漏りしている避難所
(総合体育館)

防災安全室長 町民への周知は不足している部分もある。今後検討する。

問 避難行動要支援者登録制度の不同意者名簿を同意名簿と同様に整備すべきと考えるが。

介護福祉課長 課内の体制を整えた中で、往復書簡や訪問などで、名簿をつくり上げていきたい。

問 避難所である総合体育館の雨漏りは来年度に改修工事を行うのか。

生涯学習課長 現在行っている漏水調査の結果をもとに来年度予算に反映していく。

引きこもり対策は

答 相談業務の一環として対応している



神保 京子 議員

問 厚生労働省では、引きこもり対策推進事業を進めているが、町では現状把握のためのアンケートを取るなど対策を考えているか。

町長 ひきこもり支援は県を中心に施策を進めているため、町独自の事業展開や把握調査は考えていない。今後も窓口等で把握するとともに、関係機関等と連携して包括的な相談支援に努めていく。

【災害時避難場所】

問 ハザードマップを町の状況に見合ったものにしてあるか。活断層近くに家を建てる方があ

注意喚起はしているか。

防災安全室長 県からの情報を基に作られている。活断層については、特に注意喚起等していない。

問 台風19号による避難時の避難場所の雨漏り対応は。

教育総務課長 小学校の雨漏りに対しては、対処済みである。



町道13号のクランク

問 総合体育館の雨漏りを何度が最近修理しているが、屋根の改装を計画して、ソーラーシステムを取り入れる考えは。

生涯学習課長 雨漏り調査を進めている。屋根の形状からソーラーは難しい。

【緊急車両が通行する町道】

問 町道13号線は、途中でクランクの様になっているが、改善の考えは。

都市整備課長 クランクのようになっていた所は逆にスピード抑制にもなっているので、工事する予定はない。

行政評価を実施するのに 外部委員会を設置するのか

【答】 令和2年度より試行実施する

牧野 一仁 議員



問 外部委員会を設置し、無駄な事業や不要な設備、財政の点検を実施すると公約にあるが、予算編成時期を迎え実施したか。
町長 現在の行政評価は事務担当課等による内部評価に留まっている。より効率的かつ効果的な町政運営を推進していくために、外部評価委員の設置について検討するように指示した。

問 何年度から実施予定か。
企画財政課長 現在作成中の第6次総合計画が令和3年度から始まり、その評価は令和4年度になるので令和2年度の評価を試行運用期間として実施したい。

問 子育て環境の充実として、海外留学制度、家庭・園庭の芝生化、学童保育に障がい児の入所などを公約で上げているが、来年度予算に反映されるのか。
町長 海外留学については、まず国内にいながら異国の文化・生活習慣に触れ、生きた英語が学べる国内留学を考えている。また、校庭・園庭の芝生



ボランティア不足に悩む
おい元気会

化については、教育委員会において、園・学校と検討しており、近隣の先行事例も研究し、幅広い角度で検討していく。学童保育に障がい児の入所については、様々な問題により受け入れが難しい状況もあるが、出来る限り受け入れる方向で考えている。
問 いつまでも健康的に暮らせる生きがいづくりについては予算配分はされるのか。
町長 介護予防事業として「おい元気会」を実施しているが、運営サポートが不足している。令和2年度よりボランティアポイント制度を導入し、予算化したい。

台風19号の対応は

【答】 初めての避難勧告の発令
6施設の避難所を開設



鈴木 磯美 議員

問 そうわ会館を自主避難場所として開設した経緯は。
町長 相和地区での開設の必要性や居住性・利便性に配慮して開設した。

問 「いこいの村あしがら」も避難所として開設されたが、町との災害協定は締結されたか。
町長 締結はまだされていないが、施設側と事前調整し、協力していただいた。

問 各避難所での運営等は円滑に行われたか。
町長 施設の不具合や避難者への情報提供のあり方等多くの反省と課題があり今後、対策を検討する。

問 消防団の活動内容は。

町長 管内警戒巡回や応急作業を実施したことにより、避難情報の発令判断や被害拡大の抑制に大いに役立った。

問 ハザードマップを見直す考えは。
町長 県により、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定作業が進められていることや、川音川の浸水想定区域の見直しはされ今後、各支川のタイムラインの作成が

町長 基本的には、各施設の利用者であるが、町や町関係団体の行事等でも利用する。
問 各保育園・幼稚園・小学校・中学校の行事等における駐車場対策は。
町長 申請に基づいて敷地内の駐車を許可している。中学校に関しては、関係課と調整し、引き続き（仮称）新湘光公園駐車場を提供していくが、いつまで使えるかという問題もあるのでその年度で適宜対応する。

予定されているので改定を念頭に作業を進める。

【駐車場の適正利用】

問 総合体育館及び生涯学習センター駐車場の利用範囲は。

町長 基本的には、各施設の利用者であるが、町や町関係団体の行事等でも利用する。

問 各保育園・幼稚園・小学校・中学校の行事等における駐車場対策は。

町長 申請に基づいて敷地内の駐車を許可している。中学校に関しては、関係課と調整し、引き続き（仮称）新湘光公園駐車場を提供していくが、いつまで使えるかという問題もあるのでその年度で適宜対応する。



台風19号で自主避難所として
開設した、そうわ会館

町道391号線開通に伴う
説明会後の展望は

答 (仮) 新湘光公園内道路の
供用開始を当面見送る

田村 俊二 議員



当面、供用開始が見送られる
(仮)新湘光公園内道路

町長 供用開始については、当面見送ると判断した。新たな説明材料もないことから説明会ではなく、この旨を広報及びホームページで広く周知したい。

【公共施設等個別施設画策定状況は】

町長 計画の概要、進捗状況は。

町長 対象施設ごとに老朽化等状況調査を行い、優先順位、コストの平準化を念頭に年次ごとに策定し計画とする。今年度は、調査、コストを算出、次年度は、素案の策定、パブリックコメントを予定している。

町長 町民への情報提供は、計画策定終了後、ホームページにて資料等

を含め公表予定である。
町長 総合計画との整合性は。

町長 大井町第6次総合計画との整合性を図るよう調整し策定したい。

【事務事業効率化の取り組みは】

町長 事務事業見直しの検討・計画は。

町長 行政評価を導入し、成果や効果を検証している。より客観性等を確保するため外部評価導入の検討を進めていきたい。

町長 指定管理者制度拡充の計画は。

町長 山田総合グラウンドへの導入は一定の効果があつた。他施設への導入は、サービスの向上や採算性を考慮し慎重に対応したい。

協働推進室構想の具現化は

答 4月に課として設置する考え

石井 勲 議員



町長 次年度町税歳入見込みは。

町長 町民税個人分は対象者増で増額、法人分は減収。固定資産税は、家屋の課税件数増により増額、土地は地価下落により減額、償却資産は増額で全体では横ばい。軽自動車税は税源移譲により増額を見込んでいる。

町長 幼児教育の構想と具現化は。

町長 大井・第2各幼稚園にて3歳児給食を実施。実施年度の満3歳の誕生日を迎えたお子さんを対象に保育を始める。定員は6名程度。また、園・小学校のあり方を検討す

るための協議会を立ち上げる。

町長 協働推進室の構想と具現化は。

町長 現時点では、政策推進会議等を通じ事務分掌等を検討、室でなく課として設置。条例改正案は3月定例会を予定。

企画財政課長 課の設置は4月を考えている。

町長 河川・水路の災害予防対策と整備方針は。

を確認した時は県土木と情報を共有し対策を講じる。金田堰と和田堰の合流部や大川函渠の様に雨水が集中する箇所については、その上流において他の水路・側溝などへ水を逃がすなど、流量の分散化も検討している。
町長 庁舎だけでなく丘陵地に雨量計の設置は。
防災安全室長 平坦地と丘陵地では差があるので整備を検討していく必要がある。
町長 区画整理事業地内の公園整備及び防災事業の進捗状況は。
町長 公園の完成・供用開始は令和3年度末予定。防災関連は、防災備蓄倉庫と飲料水兼用耐震性貯留槽の設計委託を令和2年度に予定。



改修待たれる合流地点
(大川函渠)

問 投票済証明書に町の
投票済証明書を町の
法改正により投票所に同
伴できる子どもは18歳未
満に拡大された。他自治
体の取組みを参考に検討
する。



期日前投票の宣誓書を
投票所入場券に印刷することは

答 前向きに検討する

伊藤 奈穂子 議員

問 本年1月、SDGs
全国フォーラムにて「S
DGs日本モデル宣言」
が採択された。本町もS
DGsの取り組みを充実
させる必要があると考
える。まずは、SDGsを
町民に分かりやすく普及
啓発するためにホーム

選挙管理委員会委員長
前向きに検討する。

問 期日前投票の宣誓書
を投票所入場券に印刷す
ることは。

選挙管理委員会委員長
カード形式等にするなど
色々考えられる。今後に
向け検討する。

キャラクターを印刷する
など工夫しては。



近隣町の投票所入場券

【持続可能な社会をめざして】
問 防災行政無線がデジ
タル化するに当たり高齢
者世帯等には個別受信機
を無料貸与する考えは。

【防災行政無線について】
町長 無料貸与は修繕を
めぐるトラブルも起こり
かねないと考え受益者負
担が好ましいが、行政が
購入にかかる費用の一部
を負担する必要はあると
考える。負担割合は今後
検討する。

企画財政課長 今年度中
に職員の研修を行い来年
度以降には町民に向け広
報していく。また、第6
次総合計画を町民に周知
するなかで併せて周知で
きればと考える。

ページや広報でPRすべ
きだと考えるが。

問 議員視察で町おこし
に熱心な町村から色んな
事を学んだ。翻って、わ
が町の町おこしフェイ
ジョア事業の現状は。

町長 大井町まち・ひと・しごと創成戦略の中
でフェイジョア事業を位
置付け、6次産業化と農
業の活性化を目的に、大
井町商工振興会と連携し
ながら地元農産物を使用
したスイーツを開発する
プロジェクトを立上げて
推進している。生産者数
や作付面積等の拡大をし
、フェイジョアの増産を
図っているが、まだ若木
であり、生産量と売上収
入は当初の目標値と乖離

地域振興課長 フェイ
ジョア生産部会において
「産地化」すべく栽培技
術の確立と栽培法の統一、
果実の品質向上を目指し、
先行するファームの視察
やかながわ西湘農協に指
導を受け、大井町に合っ
ている。

問 特産品とするには
「産地化」が有効だが。

している。



田中 正彦 議員

フェイジョア事業の今後の方向性は
答 販路拡大、商品開発の拡充を
図っていく



フェイジョアの実
(半身に割り、果肉をスプーン
で削り取って食す)



町長 フェイジョアの特
産品化事業の中では新た
な施設整備は考えていな
い。

問 道の駅や地産地消館
の設置を考えているか。

先の開拓を進めている。

商品開発しながら、出荷

先の開拓を進めている。

の課題は何か。

事業拡大に当たって

た栽培方法を構築してい
く。

議員研修報告

足柄上郡町村議会議長会

議会運営委員研修会

災害時の議会対応・議員の役割

～近年の災害をふまえて～

講師 危機管理教育研究所主任研究員

鍵屋 一氏

11月6日足柄上郡町村議会議長会主催による議会運営委員研修会が中井町役場にて行われた。

冒頭、人を健康で幸福にするのは何か、調査研究機関によると「人間関係とコミュニケーション」に尽きること。

講師の故郷男鹿地区では「なまはげ」の伝統芸能があり、平時は五穀豊穡、家内安全を祈る来訪神である。

災害時は、要配慮者情報（なまはげ台帳）に基づき避難支援をしている。

避難所（神社）を日頃から使い、参道を整備し

確実な避難方法を実践している。大災害時に行うべき行動は、

- 1 自分の安全の確保
- 2 家族の確認（場所を含め）
- 3 近所・周辺の人の安全確認と確保である。

近年は高齢化・単身世帯等で近所付き合いが少なく災害に弱い地域・自治体になっている。地域の連携・コミュニケーションの必要性を説かれた。災害時の議会・議員の使命は

住民の命を守る（余力があれば財産も）ことで、市町村と協働して、国・県・防災関係機関・国民に働きかけることである。また、「行政に頼まれたことを行う」事が重要。災害時にトップがなすべきことは、判断を早くし、「命を守る」ことを最優先に、避難勧告等を躊躇してはならない。

大災害時には時系列に刻々と決断が求められる。その対応を議員も協力していく。日常生活の中での、連携の重要性を説かれた。

（石井 勲）



神奈川県町村議会議長会

議員研修会

清水の舞台から

講師 清水寺 貫主

森 清範氏

11月21日自治功労表彰式及び町村議会議員研修会が山北町生涯学習センターにて行われた。

研修会では、日本の暮れの風物詩として定着している「今年を象徴する漢字」を毎年揮毫してい

る京都清水寺の貫主 森清範氏からの講演を聞いた。

清水寺は、創建から千二百年経つていて火事に10回も見舞われたが、庶民の寺としてすぐに再建したそうだ。現在は50年



に1度の舞台屋根の葺き替え中とのこと。「清水の舞台から」という演題だったが、清水の由来を話される際、政府要人に清水の水で抹茶を点てる時に、この水は「諸願成就」と言われる事を話したところ、「ここにいる全ての人の願いが叶うのか」と言われたそうだが、ミナラル豊富で霊験あらたかなこの水で観音様の心が宿るのだと話された。

人の心の中に戦争があり、皆の心の中に平和がある。全ての発信源は心であり、こうありたいと思う心が遣伝子を変える。心掛け次第で考え方・行動・人生観・価値観も変える。人は生まれた時には、生命記憶を荷物として持っている。当然「自我」は意識の下に皆が持っているが「命の尊さ」を解いて頂いた時間だった。一人ひとりが平和を求めれば、世界中が平和になると感じた。

（神保 京子）

教育福祉常任委員会 町長に政策提言書を提出

令和元年12月3日、第4回定例会初日閉会后、教育福祉常任委員長から町長へ政策提言書を提出した。

次代の大井町を担う子ども達が、夢と希望を持ち、心身ともに健やかに育つことを支えることは、子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、未来の活力ある地域社会

の創造に大きく貢献するものである。しかし、近年、情報化社会の進行、少子化、核家族化などの家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等を背景に、人と人とのつながり、地域における地縁的なつながりの希薄化により、家庭や地域における教育力の低下が指摘されている。

そのような中、教育福祉常任委員会は調査研究テーマに「学校教育における現状と課題」を挙げ、1年2ヶ月という短い期間であったが、教育総務課、町PTA連絡協議会との意見交換会、総合教育会議の傍聴、先進的な取り組みをしている北海道帯広市と日高町の視察等を行った。その中で、各家庭が改めて家庭教育に対する責任を自覚し、自主的に取り組むとともに、家庭を取り巻く地域、学校、行政で家庭教育を支えていく必要があると考え、次の提言を町に行った。

提 言

家庭教育を支援する施策の基本となる事項を定め、行政、学校、地域などの役割りを明確にし、各種事業を総合的に推進するための方策を講じること。

自治功労者表彰



瀬戸和雄議員

11月21日に開催された議員研修会に先立ち行われた自治功労者表彰式において、多年にわたり議員として地方自治の振興に寄与された功績により、県内の町村議員5名が神奈川県川崎市議会議員から表彰されました。当町議会からは、瀬戸和雄議員が受賞しました。



● 町のこの人あの人 ●

太鼓を叩くことが大好きな仲間と

活動している



河原地区
こばやし あきこ
小林 晃子さん

大井町ひょうたん文化推進協議会に所属する大井ひょうたん夢太鼓の代表を務める河原地区在住の小林晃子さんを紹介します。

子ども会の役員なども務め地域の活動にも積極的に参加しながら、活動をされていました。5年ほど前から夢太鼓の代表を務めており、メンバーが少なかった時期には、娘さんにも参加してもらい、親子で活動していたそうです。

▼夢太鼓との出会い

これまで太鼓の経験は子どもの時に、どんど焼きで叩いたぐらいで殆ど経験はありませんが、約15年前に友人の誘いで大井ひょうたん夢太鼓に入会されました。

▼夢太鼓の活動

ひょうたん文化推進協議会は、ひょうたんの育成栽培および加工、またひょうたん文化の創造を目的に平成6年に発足し、その後平成10年に大井ひょうたん

夢太鼓が結成されました。大井ひょうたん夢太鼓は、現在、高校生から50代までの13名ほどのメンバーで活動しており、大井よさこいひょうたん祭や産業まつりなどの町のイベントや各地域自治会の夏祭りなど、年に10回ほどの町内のイベントに出演されています。練習は週に1回2時間ほどで、月に1回指導者を招いて行っています。指導する先生の勧めで昨年から「和太鼓1000人打ちプロジェクト」に参加されています。このプロジェクトは東日本大震災を機に、復興の応援曲として作られた「ヨロソロー」を今年1000人で演奏し全

国へ元気を発信することを目指しており、県西部地区では、夢太鼓が唯一の参加となっているそうです。このような町外への参加も町のPRに繋がっており、大切にしています。自分たちで叩く場所を探さなくても町内でコンスタントに出演の依頼があることに感謝していますと話されました。

▼今後は

これからもメンバーと協力しながら末永く活動を続けて行きたいと思っています。また、できるだけ長く続けていくためにも一緒に叩いて頂ける仲間を募集していきたいと笑顔で話されました。



大井ひょうたん夢太鼓の演奏の様子

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

3月3日(火)午前9時 第1回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936

編集後記

令和の時代となり初めて新年を迎えましたが、もうすぐ立春です。暦の上では春の始まりですが、まだまだ寒い日が続きます。

広報広聴常任委員会は、広報と広聴の更なる充実を目指し、昨年12月に、委員会の名称と構成を変更しました。議会だよりの編集を担当する広報分科会は今までと同じ委員で活動をしていきます。今年9月の任期まで町民の皆さまに、分かりやすく、読んで頂ける紙面づくりに取り組んでまいります。

清水 亜樹



広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長	伊藤奈穂子
副委員長	田村 俊二
委員	石井 勲
委員	瀬戸 和雄
委員	曽根田 徹
委員	清水 亜樹
委員	牧野 一仁